



『まえだとし女 全句』

まえだとし女

懸崖菊産業展の空青く
秋うらら茶筒のふたも葉を詰めて
仙人に似る自然薯に高値つく

ちらちらのトンネ撮る人の後退り

二周日と言ふも更なり萩見かな
秋の昼^新牛どん商ふ従姉かな

築地から父母と歩きし秋日和
画用紙に勝どき橋と秋の雲

乗継ぎの中井に暫し黄落期
笹塚の三十年代 罎雲

半額の鮑や殻の懐かしく
台風^大後^船造成の地を訪ひにけり

ホーム際女子二三人秋団扇
電車入る秋暑の椅子の女子たちに

『まえだとし女 全句』

